

70人参加し気勢

水俣病

神戸一株株主の決起集会

【神戸】二十六日、大阪で開かれるチッソ会社の定時株主総会は水俣病患者や支援の一株株主の乗り込みで、昨年同様大荒れが予想されているが、これを前に二十二日午後六時半から神戸市生田区の勤労会館で神戸・水俣病を告発する会主催の「一株株主」総決起集会が開かれた。

集会には水俣病患者代表渡辺菜蔵さん(三三)ら患者二人、東京、大阪、鹿児島など各地の水俣病を告発する会代表ら約七十人が参加した。

渡辺さんは「会社側は、人間の命をフタ一匹の値段にしようとしている」と公害発生の企業責任を認めようとし、チッソ会社の姿勢を激しく批判、また「新潟で阿

賀野川水銀中毒事件の最終公判を傍聴したが、会社側の責任のなげに腹が立った。水俣病も同じだ。一億の皆さん方のため、子供、孫のために会社側の責任をはっきりしておかなければならない」とあいさつした。

このあと、鹿児島、東京など各地の代表が決意表明したが、チッソ役員に立候補している大阪水俣病を告発する会の中江晃さん(三〇)が「株主総会では昨年度の繰り越し金三億三千万円を患者さんに補償金としてまず支払うことを要求する。われわれはチッソに公害犯罪の責任を取らしつくすまで患者さんとともにたたかう」と述べて拍手を浴びた。

「日本全土に告発の渦を」の横

断幕が張られた会場は終始熱っぽいうん開気。最後に神戸の桶口敏子さん(三三)が「株主総会の開かれる大阪・西区の厚生年金会館大ホール前で二十三日午前十時からすり込みを始めよう」と提案、午後八時すぎから「告発」の断幕を

先頭に元町駅までデモ行進した。大阪、神戸、京都などの告発する会は二十三日午後、大阪・槻公園に約千人を集めて「全国西総決起集会」を開く。また総会前日の二十五日朝には患者ら約二十人が熊本から大阪入りする。